

プラント保安防災マネジメントについて考える

G-4 安全を創る

9:30▶11:00

コスモ石油(株) 顧問 荒井 保和 氏



最近の大きな事故の度に生産現場の技術力の低下が叫ばれている。団塊の世代の退職、設備の経年化、新規設備投資の減少などそれらを裏付ける事象は確かに存在するが、それを嘆いていても始まらない。我国の特色であるものづくり文化を維持、発展させていくために、今現場に求められる文化について整理し、様々な知恵の連鎖で、潜在するリスクに気づくことが、危険を低減し、安全を確保する上で極めて重要であることを説明する。

G-5 中堅企業の保安力向上を目指して

11:45▶12:30

化成品工業協会 管理部 部長 原田 郁夫 氏



化成品工業協会の会員は70%が中小企業であり、化学産業のサプライチェーンに不可欠な化学品を製造している。大手化学企業では保安力評価システム等を実施しているが、これらは中小企業では財政面や人材面から難しい。そこで、中堅企業会員で実行可能な独自の保安力向上プログラムを本協会が立案した。現在、20社程度でWGを設置し、各社の事象事例の共有化と実行可能な対策の討議等を行っている。

医薬品添加剤ビジネスにおける最新動向

G-6 医薬品添加剤GMP自主基準適合審査会による製薬会社(7社)の審査情報の共有化システムの構築

13:30▶14:15

武田薬品工業(株) 製薬品質センター
光製薬品質部長 松永 浩和 氏

PIC/S加盟国の増加に伴い医薬品の品質管理に対する考え方もグローバルに整合性が取れてきている状況において、添加剤の品質管理手法においても医薬品と同じコンセプトが取り入れられつつある。一方で、原料調達や製造拠点がグローバルに拡がり、物流が複雑化する中で、更に多くの監査情報が必要となる。その対策として、国内の製薬企業が集まり監査情報を共有化する仕組みについて構築し運用を始めた。その内容について紹介する。

G-7 中国医薬品添加剤ビジネス法規における現状と留意点

14:45▶15:30

北京IPTコンサルティング会社 副総経理 馬 紫楠(マ シナン) 氏



本講演においては、中国の輸入医薬品添加剤ビジネスをテーマに、輸入申請時の関連法規から、プロセスおよび各官庁の役割にわたって紹介する一方、医薬品添加剤輸入申請の審査期間が、今、長くなってきた理由、輸入申請前の合否予測などについて話をします。さらに、2015年からの中国の輸入医薬品添加剤業界におけるいくつかの大きな変化についても紹介する予定である。

※日本語での講演となります。